

二〇二六年度十一月期 入学試験問題

児童文学専攻 「博士課程（前期）」

外国語（日本語）

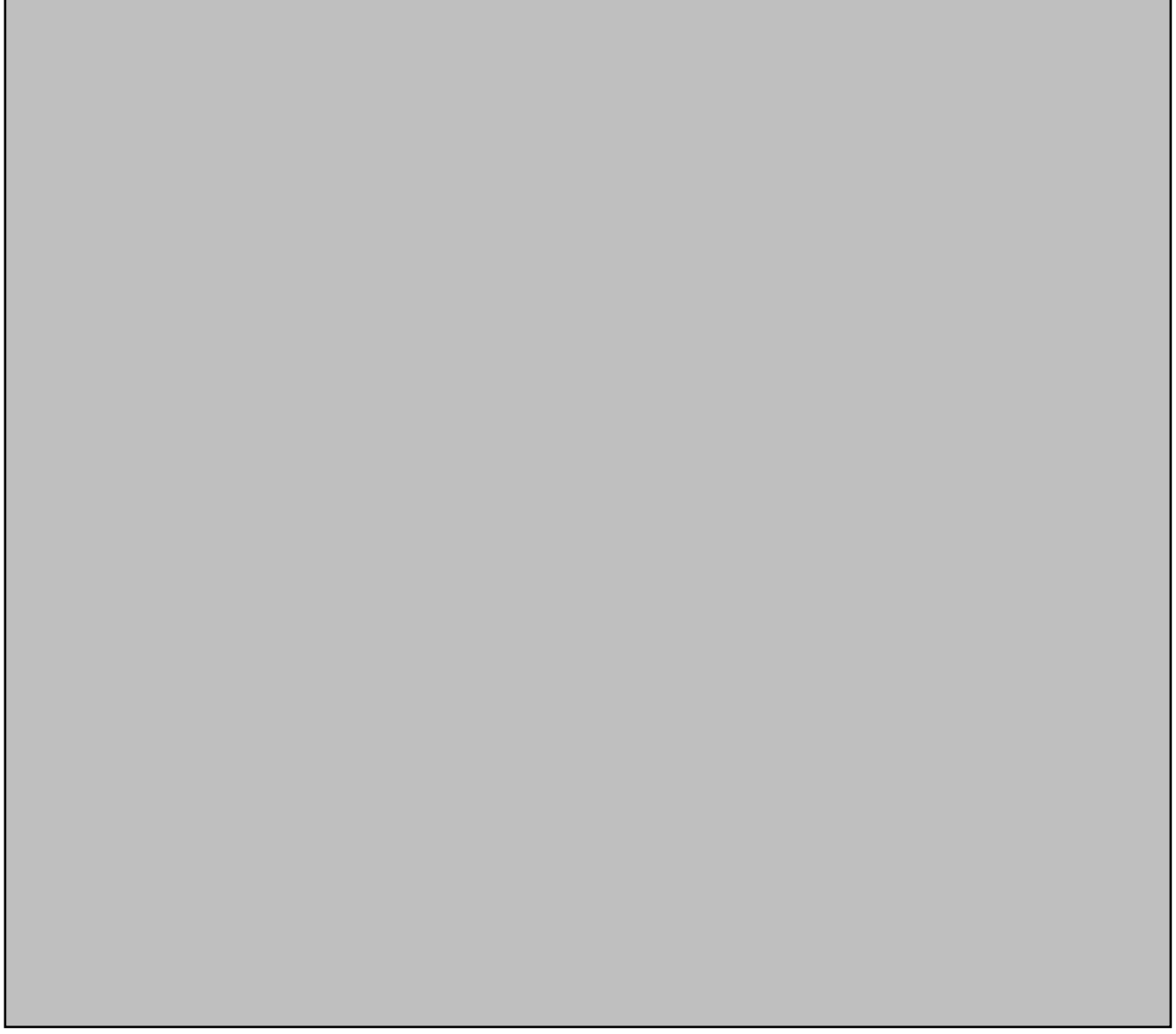
注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. 試験開始の合図があったら、解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入してから問題にとりかかること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に記入すること。
4. 辞書を使用してもよい。
5. 試験時間は、9時から10時までである。
6. 試験終了後、答案を回収する。問題冊子は持ち帰ること。

次の文章を読んで後の問に答えなさい。解答は全て解答用紙に書きなさい。



(神宮輝夫『児童文学の中の子ども』より)



問一 傍線1～10の読みをひらがなで書きなさい。

問二 傍線A・Bが何を指しているか答えなさい。

問三 傍線ア：「あとすこしで実現可能な理想の人間関係」を、文中の言葉を使って具体的に説明しなさい。

問四 傍線イ：「自己確認の機能」とは何かを、文中の言葉を使って具体的に説明しなさい。

問五 傍線ウ：「子どもが自己を確認できるために、最低限必要なものが、子どもの文学にはあると考えられる」について、あなたの意見を自由に述べなさい。